

鍋横区民活動センター運営委員会の 平成24年度事業計画

発足2年目を迎えた運営委員会は、今年度も引き続き「鍋横地域の安全・安心に向けた地域連携」を柱とし、地域の自治活動及び公益活動の推進のため下記の事業の企画・運営、地域情報の収集や提供に取り組みます。また、地区町会連合会、日赤、募金委員会等との連絡調整や公益的な活動団体の支援を行います。

事業	事業の概要
①広報	鍋横かわら版（地域催し情報版）の発行に加え、ホームページを開設します。
②高齢者	「健康体操」「折り紙教室」「講演会」などを実施し、高齢者の健康維持・増進と地域でのネットワークの拡大を図ります。
③健全育成	鍋横地域が安全・安心な子育て子育てができる、まちになるよう、PTAや地区委員会などと連携して取り組みます。
④防災・防犯	鍋横地域が安全で安心して暮らせる場所としていくためには何が必要なのかを知り、実際に行動できるよう取り組みます。
⑤地域活性化	鍋横地域の人材や資源を活用しながら、鍋横地域の良さを再発見し、これを地域に発信し、地域の活性化を応援します。
⑥地区まつり	鍋横区民活動センターを中心に活動するサークルの発表の場としての、「作品展」「歌と舞踊のつどい」「グランドゴルフ大会」「ダンスパーティ」の催しを支援します。
⑦ママたちの防災（指定事業）	「ママたちの防災－災害時子どもの命を守る地域の支えあい」事業。地域との繋がりが少なく、災害時の対応に不安を持つ乳幼児母子を中心にした防災を考える場を作り、自分たちで地域の防災・安全について考え、地域での助け合いの輪を広げられるよう支援します。

「鍋屋横丁由来」碑の修復が完成

「鍋屋横丁の由来」碑の修復につきましては、多くの方のご支援により、ライトアップ工事を含めて順調に作業が進み、7月7日に披露しました。

（設置場所は、鍋屋横丁交差点三菱東京UFJ銀行前です）



赤十字奉仕団 鍋横分団の活動



「そなエリア東京」での体験学習

7月11日の鍋横分団の研修会には、44人が参加し、東京臨海広域防災公園・防災体験学習施設「そなエリア東京」で体験学習を行いました。

首都直下型地震の発生から避難までの72時間を生き抜く知恵をクイズ形式で学ぶ「東京直下72hツアー」や震災アニメ「東京マグニチュード8.0～東京直下72h」、世界の防災用品等が展示されている「防災ギャラリー」などにより、防災に関する知識や技術の体験学習をすることができました。



炊き出し訓練を実施

7月8日、第二中学校体育館（雨天の為校庭から変更）で、千代田町会と弥生2丁目町会が実施した避難所開設訓練に15人の分団員が炊き出し訓練として参加し、五目飯130食を炊飯し、参加者に配食しました。